

群馬のいい山

株式会社オウギ工設 根岸 智和

「日本百名山」の著者である深田久弥（ふかだきゅうや）の言葉で、「一番、最近登った山がよかった」と。いろいろな人に良かった山を聞かれるたび、こう答えていたそうです。

私も、最近（去年）登った山が一番よかったことにして、いくつか群馬の山の思い出を記したいと思います。

①「よく調べてから望む」

< 袈裟丸山（けさまるやま 2018. 05. 26） >

栃木県日光市・群馬県沼田市・みどり市に跨る山。袈裟丸山は、前袈裟丸山・中袈裟丸山・後袈裟丸山・奥袈裟丸山・法師岳の総称です。この日は一番高い奥袈裟丸山（1,961m）に登り、前袈裟丸山（1,878 m）には登らず。一般に「前袈裟丸山が袈裟丸山」と頂上で知り、袈裟丸山に登った気がせず気分的に不完全燃焼。目的の一つであるジャクナゲもやや時期遅く、併せて不完全燃焼。



みどり多めのコントラストを楽しむ

②「山頂は見えてからが遠い」

< 白砂山（しらすなやま 2018. 06. 09） >

長野県・新潟県・群馬県の3県の境に位置する山。標高は2,139.7m。日本二百名山、ぐんま百名山の一つ。この先が頂上かと思いきや、まだ先が頂上という体験を何度か繰り返しながら、休み休み15kmを10時間で縦走。頂上で三国山からの2~30kmを縦走してきた登山者に会う。さらに4~50km縦走を続け、四阿山まで向かうとのこと。すごいです。



白砂山山頂はまだだいぶ先

③「山の天気は変わりやすい」

< 四阿山（あずまやさん 2018. 07. 21） >

長野県と群馬県の県境に跨る山。標高2,354m。日本百名山の一つ。ゴンドラで山頂付近まで行けるコースもあり、比較的手軽に登れる百名山の一つです。この日は根子岳~四阿山と縦走し、8~9km程度の行程でした。登りは快晴でかなり暑かったですが、頂上付近は曇りで寒い。白砂山、四阿山、稲包山ともに群馬県おすすめの「ぐんま県境稜線トレイル」の一部です。



根子岳から望む四阿山とオウギ工設登山部

④「キノコは自己責任」

＜尼ヶ禿山（あまがはげやま 2018.09.01）＞

群馬県沼田市とみなかみ町の境界に位置する山。標高1,466.0m。マイナーな山ですが、登りやすい割に、景色がいい山です。季節柄、たくさんの種類のキノコを発見しましたが、その中でかなり美味しいとうわさの、非常に珍しい「チチタケ」を発見。振動を与えると、白い汁が吹き出て食べられなくなる（らしい）ので大事に持っていました。下山途中の木道で滑って転び、振動でキノコ全身から汁が…。



一見毒キノコ。振動を与えると汁が出る。

⑤「雲海は秋がおすすめ」

＜荒船山（あらふねやま 2018.10.27）＞

群馬県下仁田町と長野県佐久市に跨る標高1,423mの日本二百名山の一つ。頂上部が平坦で、切り立った断崖を持ち、船の姿に見えることからこの名がついた山。黒斑山が雨のため、急遽荒船山に変更しての登山でした。登る途中は雲の中でしたが、数分間雲が切れ、素晴らしい景色を見ることができました。柵のない断崖からの景色。強風の日には要注意です。



曇の切れ間にのぞく断崖からの景色

⑥「盛者必衰のことわり」

＜稲包山（いなつつみやま 2018.11.10）＞

群馬県みなかみ町と中之条町に位置する山。標高1,598m。ぐんま百名山の一つ。途中、「三坂峠」と交差するようですが、笹藪で生い茂り、峠らしき痕跡は確認できません。その昔、登山ルートとは少し外れた別の場所に「木の根宿」という栄えた宿場があったようですが、今、詳細な場所はわからないそうです。



今は笹藪。栄枯盛衰を感じる三坂峠

⑦「グンマーB級グルメは、あなどれず」

＜水沢山（みずさわやま 2018.12.08）＞

群馬県渋川市に位置する標高1,194mの山。お手軽な山ですが、関東平野が一望できる素晴らしい眺めの山です。登山後は名湯伊香保温泉に浸かり、日本三大うどんの水沢うどん（所説あり）で食べてみてください。その他、名物「焼きまんじゅう」や「登利平（弁当）」を追加で堪能できて中級者といわれるようです。



関東平野。利根川と群馬県庁も

群馬にお越しの際は、ご案内いたします。